

上越市長 村山 秀幸 様

上越市議会議長 武藤 正信

市民と議会の意見交換会で聴取した市民意見への対応について

市議会では、上越市議会基本条例に基づき市民と議会の意見交換会を 11 月 9～14 日に開催し、4 会場で寄せられた 63 の意見等について、課題調整会議においてその対応方針を協議いたしました。

つきましては、課題調整会議で行政運営の参考にしていただきたい「意見等」を整理しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、意見や対応方針等については、議会だよりや議会のホームページで公表しますのでご承知おきください。

記

**1 行政運営の参考にしていただきたい意見等 【10 件】**

(1) ほくほく線の上越妙高駅乗り入れについて

「大島・浦川原・安塚に住んでいる市民は、えちごトキめき鉄道だけでなく、ほくほく線が命である。ほくほく線の上越妙高駅への乗り入れを行政側にも要望しているが、議会からも交通網の確保に努めてほしい。」(浦川原区)

(2) くびき駅の清掃委託について

「町内会で清掃受託しているくびき駅を見直すとあったが、著名建築家が宇宙をイメージした建物であり、見直しはやめてほしい。清掃の費用を見直され、削減されると、当町内会で清掃委託は継続できない。削減しないでほしい。」(頸城区)

(3) 認知症サポーターについて

「市では、認知症サポーター 2,000 人を目標として養成講座を開催しているが、その利活用の方針は示していない。個々の活動で自由にとのことだが、地域包括支援センターとの連携が大切だと思う。実際、地域包括支援センターは地域の中で何人のサポーターがいるか知らないと思うので、連携がよく取れるような仕組みをお願いしたい。他市視察で好事例があれば教えてほしいし、今後、そういう視点を持ってほしい。」(頸城区)

(4) 民生児童委員について

「3 年前にも意見したが、民生児童委員の制度は昭和 20 年代からの制度で制度疲労が起きている。根本的に変えていかないと手がない。こうした声をしっかり挙げていってほしい。」(板倉区)

(5) 民生委員について

「民生委員の仕事がありすぎるので何とかできないのか。」(名立区)

(6) 森林整備に対する補助について

「合併する前は、毎秒 5~6 トンの水が後谷ダムに行っているということで、それなりの金額をもらっていた。名立町や瀬戸地区で利用していたが、合併してから音沙汰がない。現在もより潤沢に水が出るよう森林整備は行っているのに対応してもらえないのか。」(名立区)

(7) 森林整備のイベントについて

「森林整備のイベントもやっているようであるが、名立区には打診がない。」(名立区)

(8) 放課後児童クラブについて

「市内には、環境の悪い放課後児童クラブがある。もう少し、環境の良いところで預かることはできないか。」(浦川原区)

(9) 放課後児童クラブについて

「放課後児童クラブが狭くて嫌と言う児童もいる。児童がストレスを抱えてしまうことが心配であるため、空いている公共施設等を利用し、解消してほしい。」(浦川原区)

(10) 事業承継や担い手不足について

「事業継承や担い手不足への対応について、上越市では複業議論が進んでいるか。妙高市は、取組を進めている。」(板倉区)